

令和 5 年度 なかぐしくうどうん 中城御殿跡地整備検討委員会 概要

1. 全体位置図（首里城公園内施設）
2. 中城御殿跡地整備基本計画の改定について（令和 3 年度）
3. 令和 5 年度中城御殿跡地整備検討委員会について
4. 令和 4 年度からの検討スケジュール
5. 令和 5 年度検討スケジュール（案）

1.全体位置図（首里城公園内施設）

- 中城御殿跡、松崎馬場、円覚寺跡や龍潭周辺等を計画的に整備し、国営・県営区域が一体となった公園全体の魅力向上を図る。



「この地図は、沖縄県知事の承認を得て、同県発行の2,500分の1の都市計画図を複製したものである。(承認番号)沖都規平13-1号」

2. 中城御殿跡地整備基本計画の改定について（令和3年度）

中城御殿跡概要

- 中城御殿とは、首里城公園内に立地する琉球王家の屋敷跡である。1874年に琉球王国の世継ぎ（世子中城王子）の屋敷として建設されたが、1879年の琉球処分以降は尚家一家が移住してきた経緯を持つ。
- 平成22～26年度の検討委員会で策定された「中城御殿跡地整備基本計画」について令和3年度に改定を実施した。

【規模】 敷地面積：約11,330㎡ 延べ床面積：約3,870㎡（RC造3,030㎡、木造840㎡）

【令和3年度整備基本計画改定の概要】

① 中城御殿の展示計画の見直し（美術工芸品の保存管理）

- 城郭内で扱っていたオリジナルの美術工芸品等及び中城御殿の出土遺物について、展示・収蔵する方向で検討した。
- 中城御殿の展示計画について、他館からの借用展示も視野に入れ検討した。
- 展示収蔵の導入機能や必要規模等を踏まえ、適切な保存環境に対応できるよう建物構造や配置等の再検討した。

② 施設全体の防災・防火対策の強化

- 施設全体の防火対策・延焼対策に関して、国の技術検討委員会や県の首里城公園管理体制構築検討委員会の提言等を踏まえた検討した。

③ 公園全体の一体利用、魅力向上に資する利用の拡充

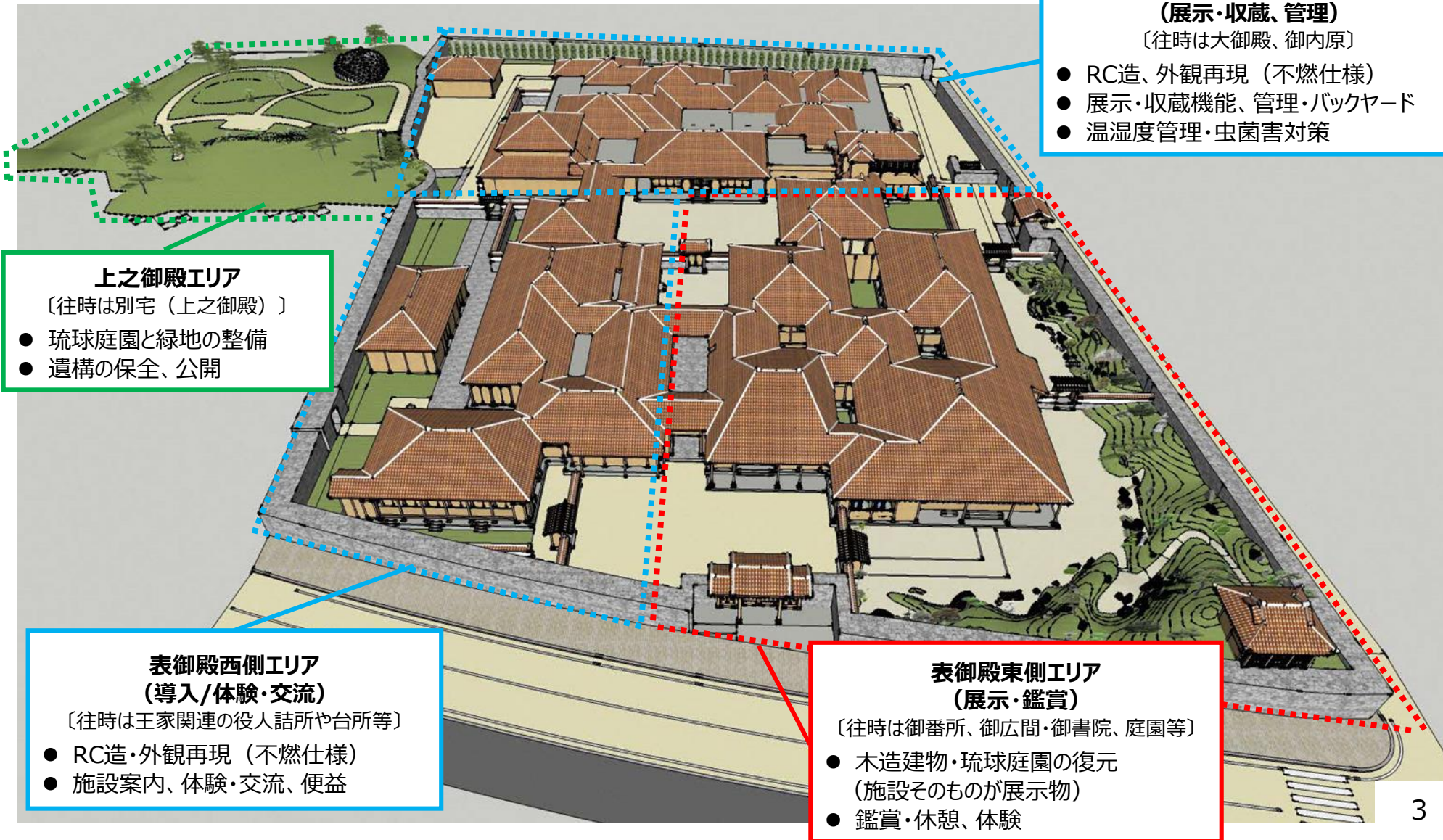
- 県営区域の各施設の魅力向上を図ることにより、公園全体の一体利用や首里地域への周遊促進を図る。



右2枚写真：
沖縄県立芸術大学附属
図書・芸術資料館所蔵

2.改定計画の概要

中城御殿整備イメージ 鳥瞰図（正面、龍潭側より）



(参考) 中城御殿跡地整備スケジュール (案)

令和3年度
第3回委員会
提示資料

今年度

